

2025年3月期 第3四半期 決算補足説明資料



株式会社マツオカコーポレーション(証券コード 3611)

2025年2月13日



目次

1

2025年3月期 第3四半期 決算概要

P2

2

2025年3月期 連結業績見通し

P12

1

2025年3月期 第3四半期 決算概要

業績ハイライト

売上高	営業利益	為替差損益調整後 営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 四半期純利益
52,844 百万円 前期比 +17.9 %	687 百万円 前期比 ▲23.2 %	3,189 百万円 前期比 +27.6 %	3,634 百万円 前期比 +13.4 %	2,099 百万円 前期比 +9.5 %

増減要因

- 2025年3月期第3四半期は、事業面は概ね堅調な状況。縫製事業においては、好調な市況を背景に在庫調整のフェーズも一服し、受注が引き続き堅調に推移している。また、現中期経営計画の第1期で新設した、ベトナムとバングラデシュの工場における生産キャパシティの拡大は順調に進んでおり、堅調な受注をしっかりと受け止め、売上高向上に貢献した。加えて、生地加工事業（ラミネートフィルム事業）においては、強みである研究開発力が顧客のニーズとマッチし、引き続き受注獲得と生産量向上に寄与した。
- 売上高は、品目別ではカジュアルウェアと生地加工事業が好調、全体を牽引し前期比17.9%の増加。
- 営業利益は、為替レートが期初と比べて円安に進行したことで、海外工場コストが増加し前期比23.2%のマイナス。
- 本業の状況を表す当社独自指標の為替差損益調整後営業利益は、本業が堅調に推移し前期比27.6%の増加。
- 経常利益は、堅調な本業の状況から前期比13.4%の増加。
- 親会社株主に帰属する四半期純利益は、経常利益の増加に伴い前期比9.5%の増加。

※ 為替差損益調整後営業利益は、当社本業における実力値を判断するために算出した、当社独自の指標です。詳細は本資料の10頁をご参照下さい。

2025年3月期第3四半期 連結損益概要

(単位：百万円)

	2024年3月期 第3四半期	2025年3月期 第3四半期	増減	増減率
売上高	44,817	52,844	+8,026	+17.9%
販売枚数(縫製事業)	32.9百万枚	36.9百万枚	+4.0百万枚	+12.3%
販売ヤード数(生地加工事業)	10.6百万ヤード	14.4百万ヤード	+3.8百万ヤード	+35.8%
営業利益	895	687	▲207	▲23.2%
為替差損益調整後営業利益	2,499	3,189	+689	+27.6%
経常利益	3,204	3,634	+430	+13.4%
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,916	2,099	+182	+9.5%

為替レート		2024年3月期 第3四半期		2025年3月期 第3四半期		2025年3月期 想定レート
		(23/9) 子会社	(23/12) 当社	(24/9) 子会社	(24/12) 当社	通期
<円/USD>	期中平均	138.2円	143.3円	151.5円	152.6円	151.7円
	期末	149.6円	141.8円	142.7円	158.2円	146.5円
<円/元>	期中平均	19.6円	—	21.0円	—	21.1円
	期末	20.4円	—	20.5円	—	21.3円

※ 当社グループのうち、3Q決算において12月時点の為替レートを使用するのは、当社及びMYANMAR POSTARION CO.,LTD、その他の子会社は9月時点の為替レートを使用しております。

売上高（品目別・生産地域別）

- 品目別では、カジュアルウェアが前期比+24.5%増、生地加工事業が前期比+51.5%の大幅増収一方で、インナーウェアは暖冬の影響から受注が減少し前期比で減収
- 生産地域別では、生地加工事業の好調により中国が増収、また新設工場のキャパ拡大に伴いベトナム、バングラデシュの売上高が伸長、一方で、インドネシアは若干の減収となった

品目別売上高（対前期比）

(百万円)

品目	2024年3月期 第3四半期	2025年3月期 第3四半期	増減	増減率
カジュアルウェア	26,784	33,343	+6,559	+24.5%
ワーキングウェア	3,253	3,224	▲29	▲0.9%
インナーウェア	8,719	7,094	▲1,624	▲18.6%
生地加工事業	6,059	9,180	+3,121	+51.5%
合計	44,817	52,844	+8,026	+17.9%

生産地域別売上高（対前期比）

(百万円)

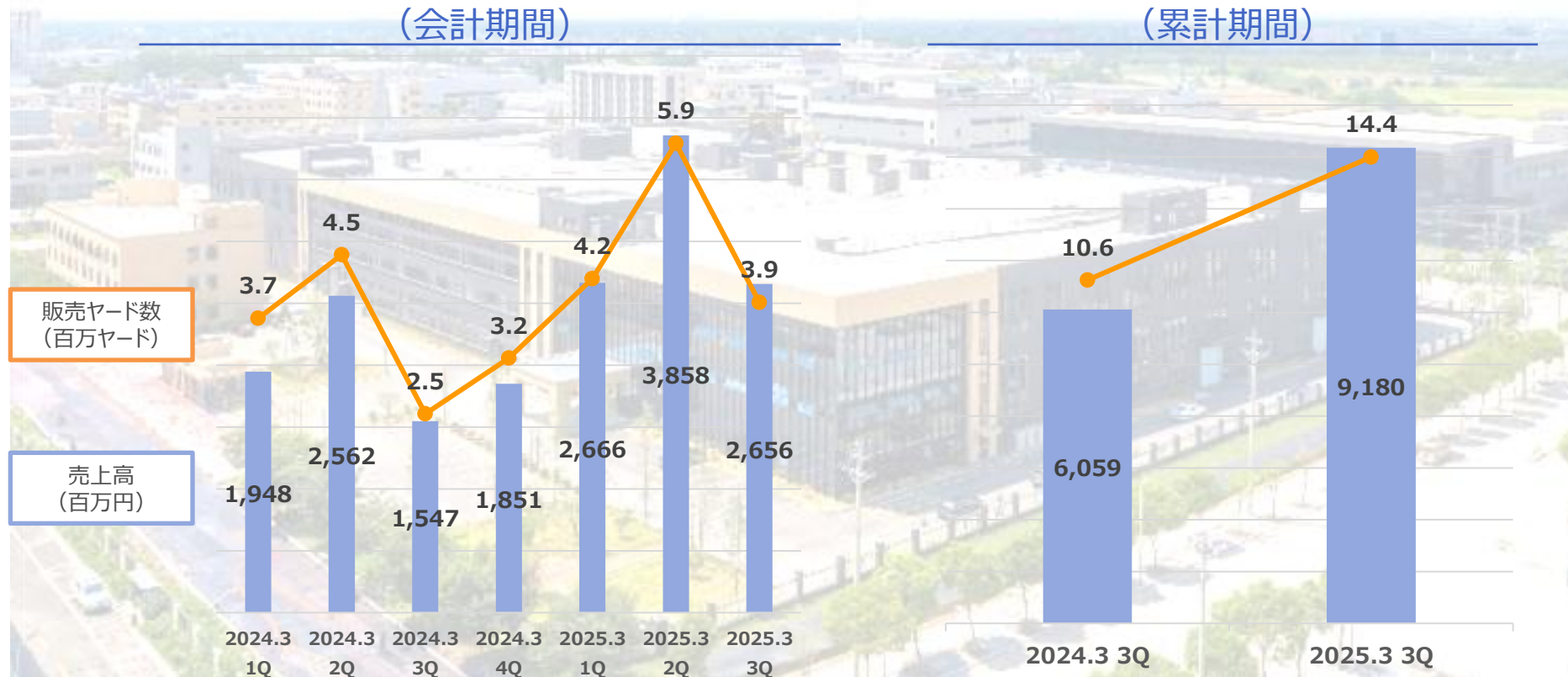
生産地	2024年3月期 第3四半期	2025年3月期 第3四半期	増減	増減率
中国	16,226	19,654	+3,428	+21.1%
ベトナム	11,994	15,272	+3,278	+27.3%
バングラデシュ	11,955	13,385	+1,430	+12.0%
インドネシア	2,470	2,270	▲200	▲8.1%
ミャンマー	2,170	2,260	+89	+4.1%
ASEAN諸国等 小計	28,590	33,189	+4,598	+16.1%
合計	44,817	52,844	+8,026	+17.9%

生地加工事業（ラミネートフィルム事業）の売上高推移

- 生地加工事業（ラミネートフィルム事業）を手掛ける子会社2社（中国の嘉興徳永紡織品有限公司（JDT）及びベトナムのJDT VIETNAM CO.,LTD）は、オリジナルのPUフィルムの製造、生地
の設計開発、ラミネート、ボンディング等を行う、テキスタイルカンパニー
- 主要取引先は、欧米のアパレルメーカーであり、高品質な透湿防水生地の生産を行い、品質及び納
期管理を徹底することで取引先の信頼確保に努め、着実に業績を伸長

生地加工事業の売上高と販売ヤード数
(会計期間)

生地加工事業の売上高と販売ヤード数
(累計期間)



生地加工事業の成長性

アウトドア業界のマーケット拡大・EC普及

- アウトドアウェア・スポーツウェアのタウンユース化及びECの普及により通年販売が可能となり、季節による業績変動が緩和
 - ↳ 生産の平準化が進捗
- ➔ 1年を通じての業績伸長が実現
今期の売上高 前年同期比 **+51.5%**

主要顧客は欧米アパレルメーカー

- DECATHLON（フランス）、Columbia（アメリカ）、lululemon（カナダ）等…

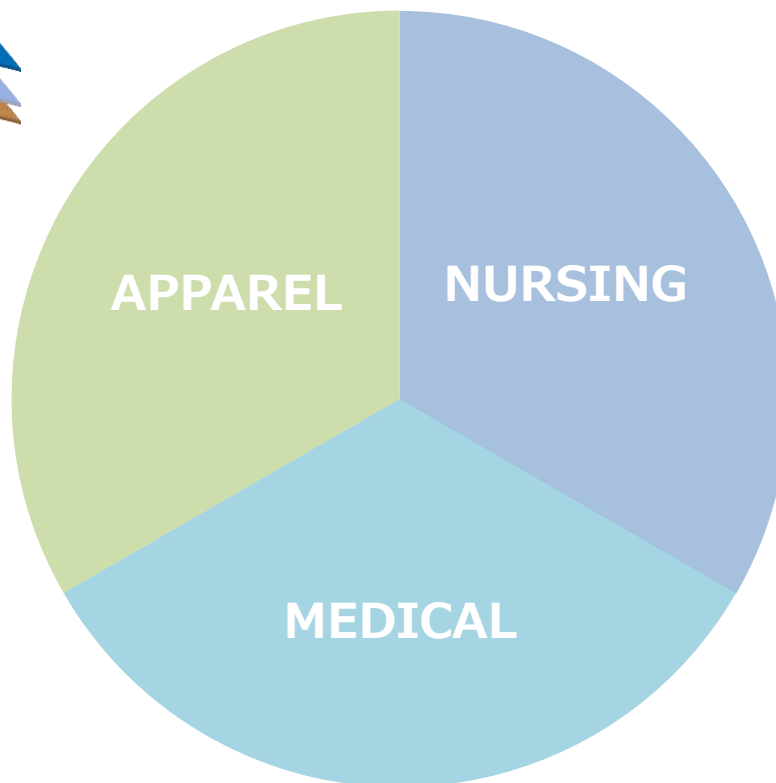
開発力と品質の高さ

- 国内外のアウトドア・アパレルメーカーと連携し、高機能かつ高品質の素材を開発
- 環境負荷低減の観点から、化学品使用に関する世界各国の環境規制を遵守した素材開発及び生産手法の研究を進める



安定成長を続ける生地加工事業の概要

- 主として高機能なアウトドアウェアやスポーツウェア等に利用される、透湿防水生地の生産を行う
- 外部繊維素材メーカーから調達した生地、自社生産した透湿防水フィルムを張り合わせる（ラミネート加工）で、高い防水機能と蒸れを抑える透湿機能を両立させ、付加価値を高める



- 撥水、透湿、防水
- 軽量素材、ストレッチ素材
- 耐久性
- アウトドアウェア
- スポーツウェア
- カジュアルウェア etc.

- 耐久性
- 介護シート
- 介護エプロン
- 介護おむつかバー etc.

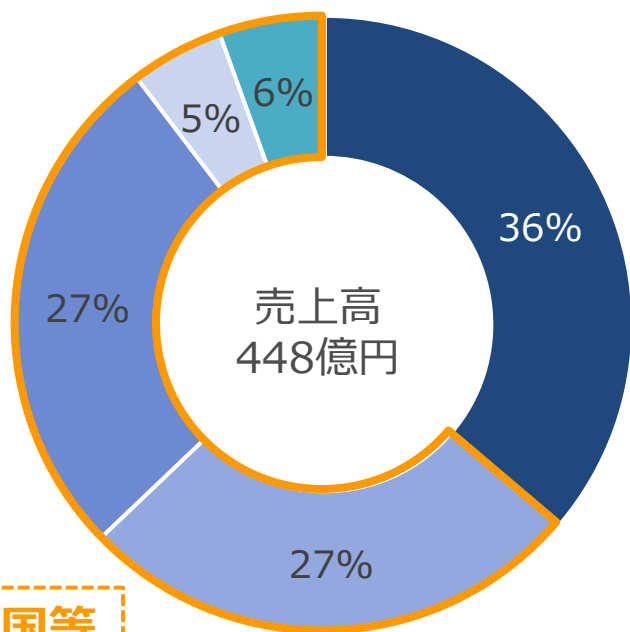
- 10μフィルム
- 透湿、伸縮、安全性
- バンドエイド
- 防護服 etc.

売上高（生産地域別比率）

中期経営計画で掲げた生産地シフトの状況

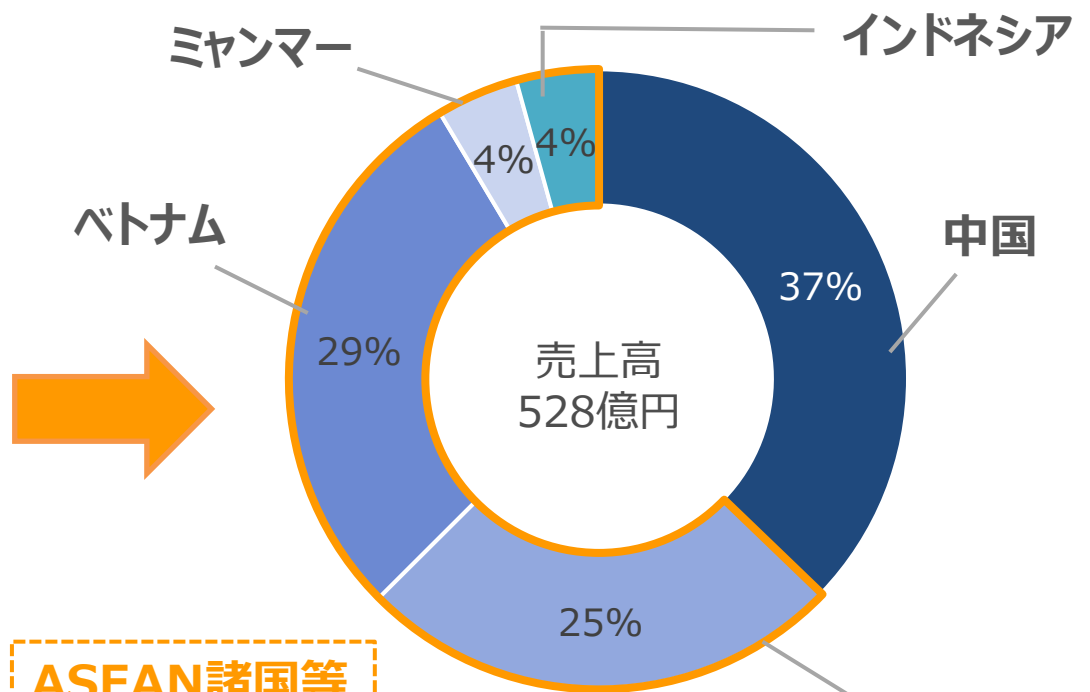
- 中国における生地加工事業（ラミネートフィルム事業）の大幅増収により、前年同期比でASEAN諸国等の売上高比率は微減となるも、ベトナム、バングラデシュでは順調に新工場のキャパシティが拡大、ベトナムは全体に占める売上高比率も上昇

2024/3期 3Q（実績）



ASEAN諸国等
約64%

2025/3期 3Q（実績）



ASEAN諸国等
約63%

当社グループ事業における為替の影響及び「為替差損益調整後営業利益」について

(為替差損益調整後営業利益)

- 当社グループの収支構造では、円安ドル高局面においては、海外子会社損益計算書の製造原価及び販管費の円換算額が大きくなるため連結営業利益が減少します。一方で取引先との個別契約等による為替変動リスクヘッジの効果は、日常的な営業取引決済等から発生する為替差損益として、連結損益計算書において**営業外収益**に計上されます。これらの為替差損益は当社の営業取引（本業）からくる営業利益と一体のものであるという考えの下、営業取引から発生した為替差損益を調整した事業損益を算定し「為替差損益調整後営業利益」として開示しております。
- **計算式：為替差損益調整後営業利益 = 営業利益 + 営業取引から発生した為替差損益**

注：為替差損益の分類方法は以下の通りです。

営業取引から発生した為替差損益：営業取引決済から発生した為替差損益、売掛金・買掛金の換算替えから発生した為替差損益

財務取引から発生した為替差損益：現預金、貸付金及び借入金の換算替えから発生した為替差損益

(単位：百万円)

	2024年3月期 第3四半期	2025年3月期 第3四半期	増減	増減率
売上高	44,817	52,844	+8,026	+17.9%
営業利益	895	687	▲207	▲23.2%
為替差損益	2,003	2,879	+876	+43.7%
うち営業取引から発生したもの	1,604	2,501	+897	+55.9%
うち財務取引から発生したもの	399	378	▲21	▲5.3%
為替差損益調整後営業利益	2,499	3,189	+689	+27.6%
経常利益	3,204	3,634	+430	+13.4%

※ 為替差損益調整後営業利益は、営業利益に営業取引から発生した為替差損益を加算したものであり、当社本業における実力値を判断するために算出した当社独自の指標です。

連結貸借対照表

(単位：百万円)

		2024年3月期	2025年3月期 第3四半期	増減	増減率
資産合計		65,697	70,243	+4,545	+6.9%
	流動資産	42,413	47,312	+4,898	+11.5%
	有形固定資産	19,457	19,075	▲382	▲2.0%
	その他	3,825	3,855	+29	+0.8%
負債合計		29,636	32,807	+3,171	+10.7%
	流動負債	19,558	23,012	+3,454	+17.7%
	固定負債	10,078	9,795	▲283	▲2.8%
純資産合計		36,061	37,435	+1,374	+3.8%
自己資本		33,263	34,636	+1,372	+4.1%
自己資本比率		50.6%	49.3%	▲1.3pt	—
有利子負債残高		14,846	16,884	+2,038	+13.7%
D/Eレシオ		0.55倍	0.59倍	+0.04	—

2

2025年3月期 連結業績見通し

2025年3月期 通期連結業績見通し

- 堅調な本業の状況に加え、アパレル製品の需要回復を背景に、順調に拡大する工場キャパが堅調な受注をしっかりと受け止め、25/3期は前年と比較して増収増益を見込む

(単位：百万円)

	2024年3月期 通期業績	2025年3月期 通期業績予想	増減	増減率	2025年3月期 第3四半期	進捗率
売上高	60,176	67,000	+6,823	+11.3%	52,844	78.9%
営業利益	792	1,200	+407	+51.4%	687	57.3%
為替差損益調整後営業利益	3,247	4,600	+1,352	+41.7%	3,189	69.3%
経常利益	4,493	4,400	▲93	▲2.1%	3,634	82.6%
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,457	3,000	+542	+22.1%	2,099	70.0%

為替レート		2025年3月期 3Q実績		2025年3月期 想定レート
		(24/9) 子会社	(24/12) 当社	通期
<円/USD>	期中平均	151.5円	152.6円	151.7円
	期末	142.7円	158.2円	146.5円
<円/元>	期中平均	21.0円	—	21.1円
	期末	20.5円	—	21.3円

2025年3月期 連結業績見通し（前期比）

売上高

- アパレル業界における流通在庫の解消は想定通りに解消。従来より取り組んできたベトナム、バングラデシュの工場における生産キャパシティの拡大を順調に進めており、堅調な受注をしっかりと受け止められていることから、通期では増収の見通し。（前期比 +11.3%）

営業利益

- 海外子会社における生産性の向上及び新設工場の生産キャパ拡大による生産数量の増加を見込む。為替変動の影響から海外工場コストが増加し、上期は苦戦したが、堅調な本業況を背景に通期での増益を見込む。（前期比 +51.4%）

為替差損益調整後営業利益

- 営業利益に、売掛金・買掛金の換算替えから発生した為替差損益(営業取引から発生した為替差益)を加算した為替差損益調整後営業利益については、堅調な受注状況を背景に前期比で増益の見通し。（前期比 +41.7%）

経常利益

- 売上高が大幅に増加するも、期首（151.4円）と期末の為替レート差から発生する現預金、貸付金及び借入金 of 換算替えから発生した為替差損益（財務取引から発生する為替差益 前期は約9億円計上）がマイナスになることを想定し、ほぼ前期並みの見通し。（前期比 ▲2.1%）

親会社株主に帰属する当期純利益

- 経常利益は若干の減益見通しとなるも、前期は特別損失5億円を計上したことから、前期比では増益の見通し。（前期比 +22.1%）

株主還元（配当方針）

（配当方針）

事業の持続的成長のための新規投資や、財務の健全性、経営環境の変化に耐え得る経営基盤充実のための内部留保とのバランスを総合的に考慮しながら、**連結配当性向30%**を目安に経営成績に応じた配当を行う

2025年3月期 1株当たり期末配当予想
90円

	2021年3月期 （実績）	2022年3月期 （実績）	2023年3月期 （実績）	2024年3月期 （実績）	2025年3月期 （予定）
1株当たり配当金	40円	40円	40円	50円	90円
配当金総額（百万円）	391	392	399	499	899
当期純利益（百万円）	2,764	559	1,676	2,457	3,000
配当性向	14.4%	70.1%	23.5%	20.3%	30.0%

本資料の取り扱いについて

本資料に記載されている計画や見通し、戦略などは本書面の作成時点において、取得可能な情報に基づく将来の業績に関する見通しであり、これらにはリスクや不確実性が内在しております。

かかるリスクおよび不確実性により、実際の業績等はこれらの見通しや予想とは異なる結果となる可能性があります。

これらの情報は、現在入手可能な情報から経営者の判断に基づいて作成されており、実際の業績は、さまざまな重要な要素により、業績見通しとは大きく異なる結果となりうるため、業績見通しのみで全面的に依拠することはお控え下さいますようお願い致します。

本資料に含まれる当社以外に関する情報は、公開情報等から引用したものであり、かかる情報の正確性、適切性等について当社は何らの検証も行っておらず、またこれを保証するものではありません。

また、本資料は、投資勧誘を目的としたものではありません。

投資に関する決定は、利用者ご自身のご判断において行われるようお願い申し上げます。

本資料における表示方法について

数 値： 単位未満を切り捨て

比 率： 1円単位の金額で計算後、単位未満四捨五入

会計期間： 連結・当社、国内および海外子会社の会計期間は次のとおり

	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	通 期
連結・当社・ミャンマー子会社	4月～6月	7月～9月	10月～12月	1月～3月	4月～翌年3月
その他の海外子会社	1月～3月	4月～6月	7月～9月	10月～12月	1月～12月

本資料に関するお問合せ先
株式会社マツオカコーポレーション
総務部 広報IR課
(E-mail. info_ir@matuoka.co.jp)
(URL. <https://www.matuoka.co.jp/>)